

登米地区：登米市立佐沼中学校区の取組

【推進校】 登米市立佐沼小学校 登米市立北方小学校
登米市立佐沼中学校
宮城県佐沼高等学校 宮城県立迫支援学校



【目標】テーマ：『登米市の未来をつくる力を育む』

～コミュニケーション力を生かし、学びを交流する場の工夫～

- 1 各校での取組、各校や地域と連携する場面では、積極的にコミュニケーションを図りながら、これまで学んだことを交流させ、更に新しい発見をしたり、自分の考えを広げたりできるようにする。
- 2 地域との連携をとおして、様々な人々と関わりながら、自らがよりよい生き方を求め、社会での役割を果たす意義を学び、社会に参画する力を養う。

【取組の概要】

- 1 小中高、支援学校との主な連携実践
 - ・ 佐沼中1年生による児童への学校紹介
 - ・ 小中連絡会での教師相互の情報交換
 - ・ 北方小運動会での佐中生ボランティアニング
 - ・ 佐沼小6年生の高校見学会
 - ・ 佐沼中の先輩の話を聞く会における佐沼高生からの進路講話
 - ・ 佐沼高生による佐沼中夏休み学習支援
 - ・ 支援学校の行事へのボランティアニング
- 2 地域との協働実践
 - ・ 町たんけんをしよう（佐沼小）
 - ・ 夏祭りをしらべよう（佐沼小）
 - ・ 職場体験（佐沼中）
 - ・ 佐沼中1年生のキャリアセミナー
 - ・ 佐沼中2年生のキャリア教育推進（職場体験活動）
 - ・ 防災教育（佐沼中学校総合防災訓練協力者会議との協働防災訓練）
 - ・ 移動市長室への参加（佐沼中・佐沼高）
 - ・ 職業体験、絵手紙教室（迫支援）
- 3 各校の特徴的な取組
 - ・ 自分史作成（佐沼小）
 - ・ インドネシア アチェ州との交流（北方小）
 - ・ 宿泊体験学習、修学旅行（佐沼中）
 - ・ キャリアセミナー（佐沼中）

【成果】

各学校では、これまでの実践を見直し、志教育の3つの視点を意識した活動に再構成したことで、児童・生徒の主体的な取組を引き出しており、その主体性が、学校生活全体の活性化につながっている。コミュニケーションの重要性を意識させながら他校種、地域との連携を図ったことで、児童・生徒の自己有用感を高め、誰かの役に立ちたいという意識につながっている。

また、志教育の視点で今までの教育活動を見直すことによって、特別な実践や活動だけでなく日常の学習活動や諸活動でも、子供たちの主体性や結び付き、それぞれの活動のねらいに奥行きを与えている。

【課題】

今後も志教育をより「良質な学び」とするために、継続していくことが大切であると考えた。そのためには、同じ活動であっても取組について「志教育」のフィルターを通して検証し、より教育効果が得られる方法や手立てについて考え、無理せず連携を進化させていく必要がある。